

すずしろ

～開拓・発展・完成～

10月 第5号

令和2年10月5日

開進第四中学校だより

校長 児島 泰彦

この頃は朝晩と涼しくなり、夕方6時を過ぎる頃にはもうすっかり暗くなっています。寒暖の差が激しい時期ですので、体調を崩さないようにしてください。先週末には第2回の定期テストが終了しました。満足のいく出来栄えだった人もいれば、思うようにうまくできなかった人もいます。テストは受けたらそれで終わりではなく、その結果をしっかり受け止めて、できなかったところをもう一度納得するように理解してはじめて知識として身に付くものです。今週からテストが返却されると思いますので、ぜひそれを実践してください。

先週の出来事です。本校に来られた方が職員玄関の場所がわからずに体育館側の生徒玄関の前で迷っていました。遠目ではありましたがそれを見かけた生徒たちが「こんにちは」と笑顔であいさつしてくれたそうです。さらに一人の生徒がわざわざ近寄ってきて「何かお困りのことがありますか。」と声をかけてくれたそうです。来校された方は校長室にいらして開口一番、「校長先生、私は感動しました。」と言ってそのエピソードを伝えてくれました。

私も仕事柄、学校を訪問する機会がよくあります。学校に行くとまずはじめにあいさつをかわすこととなりますが、気持ちよくあいさつをしてくれる学校もあれば、残念ながら全く生徒が無反応な学校もあります。先ほどの方が言っていました。「私のこの学校の印象は最初の出会いで決まりました。この学校は素晴らしい学校です」と。私も最近感じていたのは、廊下ですれ違う際に皆さんが「こんにちは」、帰り際には「さようなら」とよくあいさつをしてくれることです。とても気持ちのいいものです。

人間関係の第一歩はあいさつからと言われていています。私たちは日頃ごく普通のこととして、毎日あいさつを行っていますが、ここで改めてあいさつについて触れてみます。

あいさつには「4ヶ条」があるそうで、その頭文字を使います。

「あ」は明るく温かいあいさつが大事だそうです。明るく温かいあいさつは、周りの人に安心感や信頼感を与えます。そのことが協調性の向上や人間関係の構築につながり物事がスムーズに進みます。

「い」はいつでも変わらないをモットーに。日によって態度が違うようでは相手からの信用も薄れてしまいます。安定したあいさつは自分の心の安定にもつながり、また相手にも同じ効果が得られます。

「さ」は先にすすんで行く。あいさつを人より先に行うことが大事で、先にあいさつすることは相手よりも早く好意を示すことになるそうです。先にあいさつすることで相手の好意も引き出すことにつながります。

「つ」は続けて次の言葉を。たとえば「こんにちは。いいお天気ですね。」などあいさつのあとにプラスαの言葉を続けることで、相手とのコミュニケーションがより活発になります。

「あいさつは魔法の力」とも言います。学校生活により潤いがもたらされるよう、これからも自然にあいさつが交わされる学校にしていきましょう。

ICT教育の推進

現代では、どの学校でもICT教育が行われています。このICT教育とは、パソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報通信技術を活用しながら行われる教育のことになります。それに加えて、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具を有効に使っていくことが教育効果を高めていきます。開進第四中学校でも、有効に使用できる場面では、ICT機器や視聴覚機器などを使いながら授業を行っています。

『生徒がパソコン等を操作したもの』

○音楽

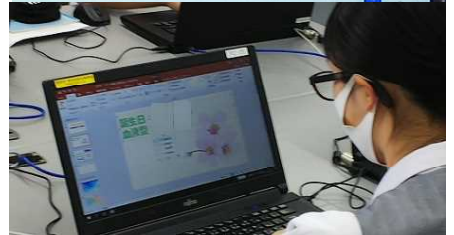
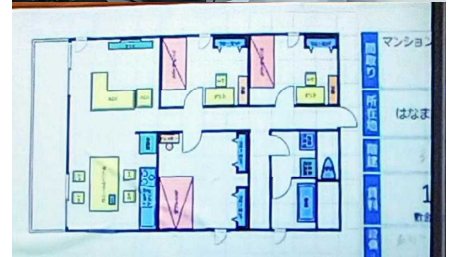
国語で作った歌詞に、曲をつけました。楽譜が書けなくても、カラオケの高低マークのように曲を作れます。

○家庭科

住まいの設計で「おすすめ物件を考えよう！」を行いました。設定は、戸建てやマンション5階建て、マンション15階建てなどから選び設計しました。これは、学校のパソコン室だけでなく、家庭のパソコンにIDとパスワードを入力して家でも進めることができます。

○技術

デジタル作品の設計と製作で、パソコンソフト「パワーポイント」を使って、相手に伝わるプレゼンテーション「自己紹介」を作っています。



『教師がパソコンや視聴覚機器等を使用したもの』

授業では、理科「実験操作の手元を大きく大型モニターに映して説明」、美術「やすりや彫刻刀などの使い方を大型モニターに映して説明」、保健体育「これから行う運動を映像で見せてイメージをもたせてから始める」、その他映像資料や説明スライドはよく使われています。

また、臨時休業中は、開四サポートとして、150本を超える学習動画を制作し、生徒の学習を進めてきました。

分散登校では、まだ全員一緒の教室で過ごしたことのない1年生のために、自己紹介動画を撮影し、お互いに見ました。その他、生徒は多くの発表場面で、パソコンや視聴覚機器を使っています。

これらのように、授業の理解がより円滑になるように、また、パソコン等を使うことによって、今までできなかったことに取り組むことができるようになって来ています。今後、時期は未定ですが一人ずつタブレット型PCを使って学習が進められるようになっていきます。



教育実習について

10月5日（月）～23日（金）まで教育実習の先生が来られるのでご紹介します。
よろしくお祈りします。

○尾口 李花 先生 ・教科 保健体育（星野先生） ・学級 2年A組（荻野先生）